

特集 1

# 第6次豊川市総合計画がスタートします!



市では、平成28年度からスタートする「未来のとよかわビジョン2025・第6次豊川市総合計画」を策定しました。これは、市民の皆さんとともに明るい未来を築くことを目指し、総合的、計画的な行政運営やまちづくりをするための指針となるものです。

今回の特集では、第6次総合計画の根幹となる基本構想の概要や基本計画の一部についてお知らせします。

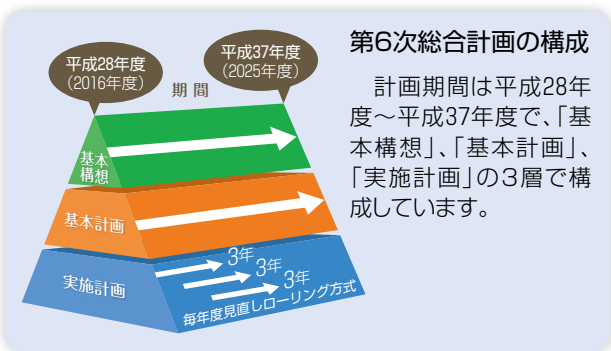
詳しいことは、企画政策課(89-2126)へ、お問い合わせください。



豊川市長  
山脇 実

今回策定しました「第6次豊川市総合計画」は、これまで築かれた豊かさや住みよさをたいせつにしなから、市民の皆様が希望に向かう姿をイメージし、市が目指すまちの未来像を「光・緑・人 輝くとよかわ」と新たに決めました。そして、少子高齢化と人口減少への対応を意識して、定住・交流施策、シティセールス、市民協働、行政経営改革に取り組みながら、多くの人に住みたい、訪れたいと思ってもらえるまちづくりを進めていくこととしています。

私は、市長就任以来、「市民との対話」をたいせつにし、将来を担う子どもたちが希望をもてるまちを目指してきました。引き続き、市民の皆様と一緒に、この計画で定めるまちづくりの方向性を共有しな



から、「子どもたちの笑顔があふれ安全安心で人にやさしいまち」を政策の目標とし、今後の施策を展開していきます。

最後に、この計画について審議いただいた市議会議員、総合計画審議会委員の皆様、まちづくり市民ヒアリング、まちづくり中学生会議、団体アンケートでご意見をお寄せいただきました皆様により感謝申し上げますとともに、まちの未来像の実現に向けて、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

まちの  
未来像

# 光・緑・人 輝くとよかわ

光

生命を育み、うるおいをもたらす川や海と、  
平和で豊かな未来へ向かう、限りない希望

緑

恵をもたらす山や田園と、豊かで美しい、  
住みよいふるさと

人

先人に築かれた深い歴史と、心豊かで  
やさしさに満ちた市民の姿

市民が希望に  
向かって進む  
「輝くとよかわ」

## 基本構想

目指すまちの未来像を  
定め、それを実現する  
ための施策の基本的  
方向を明らかにします

### まちづくりの 基本方針

まちの未来像を実現する  
ため、4つの基本方針を設  
定し、あらゆる行政分野の  
まちづくりを総合的に進め  
ていきます。

#### 基本方針1

「定住・交流施策を進めます」

少子高齢化への対応や人  
口減少の抑制、来訪者の増  
加を図ります。

#### 基本方針2

「シニアセーラズを進めます」

市民とともに、まちの魅  
力や取り組みを全国に発信  
します。

#### 基本方針3

「市民協働を進めます」

市民や町内会、市民活動  
団体、事業所と行政が連携  
します。

#### 基本方針4

「行政経営改革を進めます」

行政運営の柱となる財政  
力、組織力、人材力を高め  
ます。

### まちづくりの目標

総合的なまちづくりのため、6つの目標を定め、政  
策分野ごとの取り組みを明  
らかにします。

目標1 安全で快適な生活環境  
が整っているまち

#### 政策1〈安全・安心〉

- ①交通安全対策の強化
- ②防犯対策の強化
- ③防災対策の推進
- ④消防・救急体制の充実
- ⑤環境保全と生活衛生の向  
上
- ⑥ごみの適正処理の推進
- ⑦生活排水対策の推進
- ⑧水道水の安定供給

目標2 誰もが健やかに生き生  
きて暮らしているまち

#### 政策2〈健康・福祉〉

- ①健康づくりの推進
- ②地域医療体制の充実
- ③子育て支援の推進
- ④高齢者福祉の推進
- ⑤障害者福祉の推進
- ⑥生活自立支援の充実

目標3 住み心地よい、訪れやす  
い都市環境が整備され  
ているまち

#### 政策3〈建設・整備〉

- ①住環境の整備
- ②コンパクトシティの推進
- ③道路交通網の充実
- ④緑や憩いの空間の充実



目標4 あらゆる世代の人が豊  
かな心を育んでいるまち

#### 政策4〈教育・文化〉

- ①学校教育の推進
- ②青少年健全育成の推進
- ③生涯学習の推進
- ④スポーツの振興
- ⑤文化芸術の振興



目標5 魅力と活力があふれて  
いるまち

#### 政策5〈産業・雇用〉

- ①農業の振興
- ②工業の振興
- ③商業の振興
- ④中心市街地の活性化
- ⑤観光の振興
- ⑥雇用の安定と勤労者支援  
の充実

目標6 地域と行政がしっかりと  
支え合っているまち

#### 政策6〈地域・行政〉

- ①コミュニティ活動・市民  
活動の推進
- ②男女共同参画の推進
- ③人権啓発の推進
- ④多文化共生の推進
- ⑤開かれた市政の推進
- ⑥公共施設の適正配置と長  
寿命化の推進
- ⑦健全で持続可能な行政政  
運営と広域連携の推進



**特集 1** 第6次豊川市総合計画がスタートします!

## 基本計画

基本構想で定めた施策に基づき、まちづくりの目標を達成するために必要な手段を明らかにします

基本計画の期間は、平成28年度から平成37年度までの10年間で、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

### 人口の見通しと目標

市の総人口は、合併前の宝飯郡4町を含め、平成20年12月の18万3千259人をピークに減少傾向で、計画の最終年度の平成37年度には、17万4千615人まで減少すると予測されています。

平成37年の総人口の目標を約17万8千人と定め、さまざまな施策を進めます。

### 集約と連携によるまちの形成

拠点とする主要な鉄道駅周辺に行政機関や公共施設などの都市機能をコンパクトに集約させます。

また、拠点間と他都市とを道路や公共交通などの軸で結んで連携させることにより、将来にわたって持続可能で、利便性の高いまちの構造を目指します。

### まちの構造の構造要素と土地利用

**拠点** ● 中心拠点 ● 地域拠点

豊川・諏訪地区と、それらをつなぐ中央通地区の3地区を一体的に捉えた中心市街地を「中心拠点」とし、国府、八幡、一宮、音羽、御津、小坂井の各地区の主要な鉄道駅周辺の市街地を「地域拠点」とします。

#### ゾーン

■ 「まちなか居住ゾーン」

中心拠点や地域拠点へのアクセスが比較的容易で、商業などの都市機能が集積し、住環境が整っており、定住を促進します。

■ 「くらしのゾーン」

周辺の田園や自然環境と調和しており、住環境や沿道サービスの向上を図ります。

■ 「ものづくりゾーン」

積極的な企業誘致や工業施設の集積により、工業生産や物流拠点機能を充実します。

■ 「田園ゾーン」

平野部に広がる豊かな田園地帯で、農地を保全します。

■ 「自然環境ゾーン」

豊かな緑に囲まれた丘陵地で、自然環境を保全します。

#### エリア

○ 新たな産業拠点エリア

交通ネットワークを生かした新たな産業拠点の形成を検討する地域です。

#### 軸

≡ 広域交流軸 — 地域連携軸

本市と他都市とを結んで広域的ネットワークを形成する高速道路や国道、鉄道を「広域交流軸」とし、拠点間や近隣の他都市を結んで地域間ネットワークを形成する幹線道路やバス路線を「地域連携軸」とします。



実施計画は、財政状況を視野に入れながら、3カ年を計画期間として毎年度策定します。この実施計画において、期間内の事業費や事業量を明らかにし、さまざまな取り組みを展開していきます。

基本計画で定めた行政分野ごとの目標を実現するため、事業をどのように実施していくのかを具体的に示します

## 実施計画



総額 1,244億8,264万円

# 特集 2 平成28年度の予算



平成28年度予算が第1回定例市議会で可決されました。今回の特集では、予算の概要と会計ごとの予算額、主要事業をお知らせします。詳しいことは、財政課（89-2127）へ、お問い合わせください。

## ・ 予算の概要 ・

平成28年度予算の一般会計は、対前年度比6.5%の増、特別会計は1.2%の増、企業会計は8.8%の増となり、全会計の総合計では、対前年度比5.1%の増となっています。一般会計の予算規模は初めて600億円を超え、過去最高となりました。この要因は、平和公園（仮称）整備事業、資源化施設整備事業などの大型建設事業の実施に加え、社会保障関係費の伸びなどが大きな要因となっています。予算規模は大きく拡大しましたが、財政運営の健全性を確保しながら、人口減少、少子高齢化による社会構造の変化に対応し、本市を担う子どもたちの将来へつなげていく予算となっています。

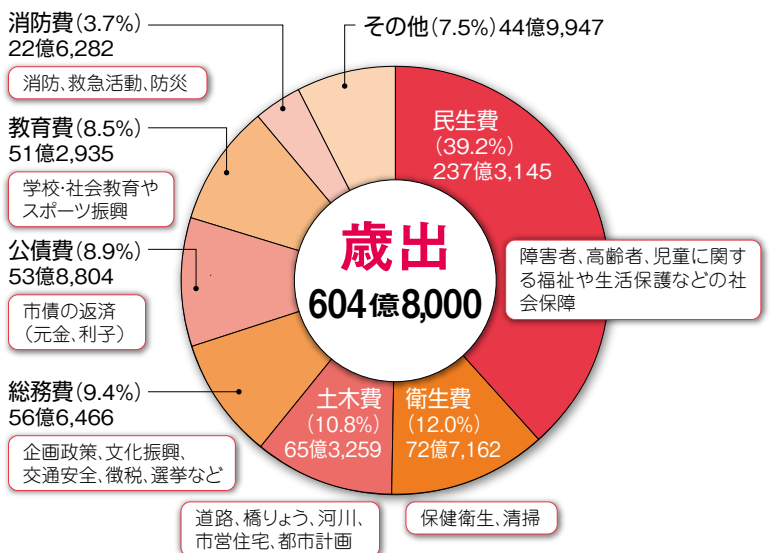
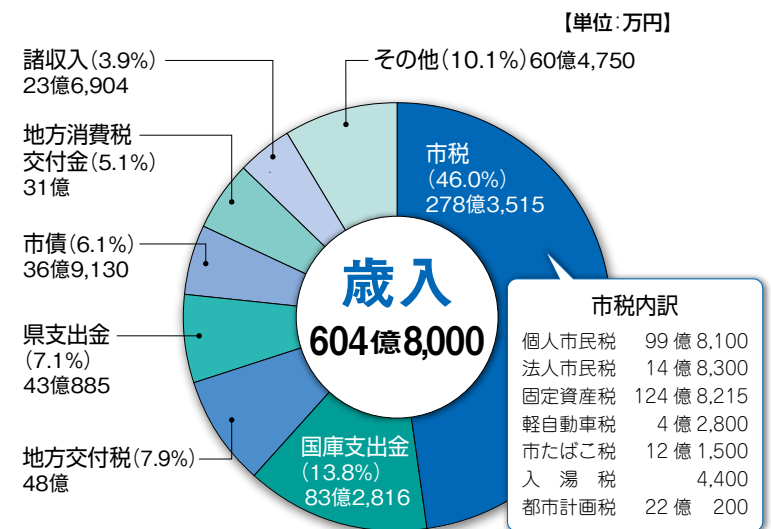
### 特別会計 ● 413億7,970万円

会計別	予算額(万円)	構成比(%)
豊川西部土地 区画整理事業	3億9,280	1.0
豊川駅東土地 区画整理事業	3億9,670	1.0
公共下水道事業	53億6,360	13.0
農業集落排水事業	9,820	0.2
公共駐車場事業	8,560	0.2
国民健康保険	192億3,340	46.5
後期高齢者医療	22億5,350	5.4
介護保険	127億4,140	30.8
土地取得	7億9,400	1.9
一宮財産区管理事業	110	0.0
赤坂財産区管理事業	300	0.0
長沢財産区管理事業	400	0.0
萩財産区管理事業	1,240	0.0
合計	413億7,970	100.0

### 企業会計 ● 226億2,294万円

会計区分	予算額(万円)	構成比(%)	
水道事業	収益的	32億4,075	14.3
	資本的	18億4,254	8.2
	小計	50億8,329	22.5
病院事業	収益的	151億1,728	66.8
	資本的	24億2,237	10.7
	小計	175億3,965	77.5
合計	226億2,294	100.0	

### 一般会計 ● 604億8,000万円



**建設・整備** 住み心地よい、  
訪れやすい都市環境が  
整備されているまち

- 空家等対策推進事業 1,047
- 国道 151 号一宮バイパス関連整備事業 12,130
- 都市計画道路上宿榎井線整備事業 9,008
- 平和公園（仮称）整備事業 90,489
- 立地適正化計画策定事業 880



▲赤塚山公園改修事業 22,500

市民のスクエアのグラウンドを人工芝に改修し、スポーツやイベントなど、多目的に利用できる広場にします。

**健康・福祉** 誰もが健やかに  
生き生きと  
暮らしているまち

- 私立幼稚園就園奨励費補助 16,651
- 産前・産後ヘルパー利用費補助 63
- 介護施設等整備事業費補助事業 46,311
- 就労準備支援事業 600
- 認知症カフェ補助事業 120

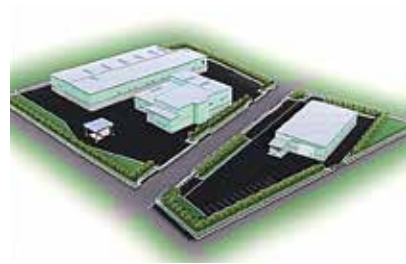


▲利用者支援事業 1,100

保健センターと子育て支援センターに専門員を配置するなど、妊娠期から子育て期にわたるまで、切れ目のない支援を行います。

**安全・安心** 安全で快適な  
生活環境が  
整っているまち

- 交通安全施設整備事業 8,414
- 自主防災会活動費補助事業 383
- 災害用マンホールトイレ整備事業 7,081
- 高規格救急自動車整備事業 6,077
- 地球温暖化対策事業 1,620
- 特定環境保全公共下水道整備事業 15,427



▲資源化施設整備事業 152,433

公園などから排出された刈り草や剪定枝を、チップや土壌改良材へ資源化する施設を整備します。

総合計画に掲げる **6つの政策** 主な事業を紹介

【単位：万円】

**地域・行政** 地域と行政が  
しっかりと  
支えているまち

- 町内会加入促進事業 66
- 市民活動推進事業 128
- クレジットカード納付事業 643
- 東三河広域連合との連携 3,784



小坂井中学校ワークショップ

▲ファシリティマネジメント推進事業 4,516

地元住民との対話を進めながら、公共施設の適正な配置を実現するための再編計画などを策定します。

**産業・雇用** 魅力と活力が  
あふれているまち

- 就農者確保対策事業 5,578
- 企業誘致推進事業 1,271
- 企業再投資促進補助 36,436
- チャレンジとよかわ活性化補助事業 2,000
- インバウンド対策事業費補助 100



豊川稲荷東京別院節分会 PR ブース

▲首都圏プロモーション活動事業費補助 120

豊川市への誘客促進を図るため、首都圏に向けて、観光PRなどのプロモーション活動を実施します。

**教育・文化** あらゆる世代の人が  
豊かな心を  
育んでいるまち

- 萩小学校校舎改修事業 25,274
- 小中学校環境対策事業 19,043
- 学校教育における英語力パワーアップ事業 205
- 文化ホール公演事業及び展示事業 4,468
- 電子図書館管理運営事業 225



▲旅籠大橋屋保存整備事業 1,427

旅籠大橋屋（市指定文化財）の保存・活用に向けて、耐震・改修工事などの実施設計を行います。